

安全工学シンポジウム2019

多様化する社会の安全・安心

「安全工学シンポジウム2019」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。

〔日時〕 2019年7月3日(水)～5日(金) 10:00～15:40

〔会場〕 日本学術会議(東京都港区六本木7-22-34)

(交通) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

7月4日(木) 12:30～13:30

特別講演 大転換時代と安全・安心

安井 至 氏(一般財団法人持続性推進機構理事長/東京大学名誉教授/前独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長)

7月5日(金) 13:00～14:00

基調講演 大型イベントの危機管理～オリパラ・万博等の大型イベントを安全に迎えるために地震からテロまで多様な危機に備える～

野口 和彦 氏(横浜国立大学リスク共生社会創造センター長)

パネルディスカッション・オーガナイズドセッション

- | | |
|--|------------------------------------|
| PD-1 安全活動と人材育成 | OS-6 エアバッグ安全に関わる課題と対策について |
| PD-2 未来社会の安全・安心(連携PD) | OS-7 リスクセンス向上手法の開発と実践 |
| PD-3 安全目標の新たな体系化 | OS-8 今後のNTS(ノンテクニカルスキル)訓練を考える |
| PD-4 大型イベントの危機管理～オリパラ・万博等の大型イベントを安全に迎えるために地震からテロまで多様な危機に備える～ | OS-9 建設プロジェクトの安全確保に向けて |
| OS-1 学際的リスク学分野の体系化～「リスク学事典2019」 | OS-10 再発防止の取り組みについて～事故防止のあり方を考える |
| OS-2 効果的な警告音とは何か | OS-11 大規模火災に対する建築物等の安全性確保と継続使用 |
| OS-3 RBSM(Risk Based Safety Management)の紹介と産業界での実施、展開 | OS-12 リスク共生社会に於けるリスクマネジメント活性化手法の開発 |
| OS-4 電気設備の品質向上とメンテナンス高度化における安全・安心技術 | OS-13 遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価・管理 |
| OS-5 電気電子機器の発火リスク | |

予稿集販売 予稿集をご希望の方は受付で5,000円で販売致します(但し、学生は1部2,000円)。

主催:日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
共催:日本化学会 他34学協会

問い合わせ先:安全工学シンポジウム2019 事務局

公益社団法人 日本化学会

[E-mail] anzen@gakkai-web.net

プログラム等の詳細は、<https://www.anzen.org/> をご覧ください

事前登録不要

参加費無料